



2024.1.16

## ◆受験にフライングはない◆

正月といえば、やはり箱根駅伝です。今年は青山学院大学が2年ぶり総合優勝を果たしました。私もテレビで観戦していましたが、チームのたすきをつなぐため全力を尽くす姿に感動しました。さて、受験や就職活動はマラソンに似ていると言われます。ゴール（第一志望）に向かって努力を重ねる継続力や辛い時に諦めない精神力など、共通するところは多いです。ただ、一つだけ違う点があります。それは、受験や就職活動はいつスタートしてもいい、ということです。そして、早くスタートすればするほど、有利になります。言い換えれば、受験や就職活動にフライングはないのです。

高2生にとって、3学期は「3年0学期」ともいわれます。3年生になる前の今の時期に人よりも早くスタートダッシュを切ることで、ライバルに差をつけることができます。そのためまずは、ゴール（第一志望）を設定しましょう。まだ志望が決まっていない、という人も、ゴール（第一志望）をとりあえず設定することで、やるべきことが明確になります。

高1生は、まだ早いと思うかもしれませんが、ですが、進路について意識を向けるだけでも大きく変わります。憧れの学校や職業について調べてみる、日々の授業に積極的に参加する、といった心がけが、2年後に大きな結果を生むのです。

青学の話に戻りますが、9区を走った倉本玄太選手は、「後半は本当にきつくて心が折れそうになったが、いろいろな人の応援があって何とかふんばれた。4年間きつかったが、この日のために苦しいことがあってもなんとか頑張ってきたので、本当に今までやってきたことが間違っていなかったと証明できたと思う。」とレース後に述べています。駅伝も受験や就職活動も、団体戦です。皆さんのレース（進路活動）が悔いのないものになるよう、我々進路指導部も全力で応援します。

## ◆入試で問われる力とは◆

今週の土日に、大学入学共通テストが実施されます。このテストは、全国で50万人程が受験する、最大規模の入試です。本校の3年生にもチャレンジする生徒たちがいます。ここで皆さんに知っておいてもらいたいことは、「知識をいかに活用するか」が最近の入試のトレンド（流行）である、ということです。入試というと、「どれだけ知識があるか（ものを知っているか）を試す」というイメージがあるかもしれませんが、ですが、これからは「知識をもとに、自分で考え、判断し、言葉で表現する力」が問われます。

では、どうすればそういった力が身につくのか。それには、当たり前前のことに疑問を持つことが大切です。「なぜ冬の空は綺麗に見えるのか」、「なぜ飲料水は自販機よりもコンビニの方が安いのか」、「なぜ日本の総理大臣は男性ばかりなのか」などといったように、身の回りの当たり前前に「なぜ？」と問う習慣をつけましょう。そして、その答えを自分なりに考えたり、調べてみたりすること（スマホですぐに調べられます）で、活用する力が身に付いていきます。また、こうした積み重ねは、共通テストだけでなく、小論文や面接の対策にもとても効果的です。

何はともあれ、冬来たりなば、春遠からじ。受験生諸君の嬉しい知らせを、心から祈っています。

高ければ高い壁のほうに登ったとき気持ちいいもんな まだ限界だなんて認めちゃいないさ  
Mr.Children 『終わりのなき旅』より